

(様式 1-3)

おいらせ町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	津波避難タワー整備事業	事業番号	D-20-2
交付団体	おいらせ町		事業実施主体 (直接/間接)	おいらせ町 (直接)	
総交付対象事業費	270,418 (千円)		全体事業費	270,418 (千円)	
事業概要					
<p>おいらせ町で東日本大震災による最も被害の大きかった川口地区において、津波災害時に浸水区域外に避難することができない者が被災を免れるため、津波避難タワーの整備を行う。</p> <p>避難収容者数 134 人 床面高さ 9.8m</p> <p>※おいらせ町震災復興計画 P19 3-3-③ 避難所・避難路の検証と避難所運営の充実 「津波発生からできるだけ短時間で避難が可能となるよう緊急避難所を整備」</p>					
当面の事業概要					
<平成 24 年度> 地域等の合意形成			<平成 26 年度> 実施設計、用地測量、建設工事		
<平成 25 年度> 実施設計			<平成 27 年度> 建設工事		
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災で、川口地区では 7.5m の津波が発生 (八戸工業大学佐々木教授の調査結果) し、重軽傷者 3 名、住家 38 棟、非住家 41 棟の他、百石漁港被害、漁港陸こうゲート損壊、荷さばき施設建設中止、川口河川公園損壊など、他地区に比べ最もその影響が大きい地区であった。</p> <p>現在、開催している東日本大震災からの復興を住民とともに検討する「復興地域づくり検討会」においても、当地区の住民から、短時間で避難できる施設の整備を求められている。</p> <p>こうしたことから、震災の被害から立ち直り、地域の復興を図っていくためには、地区住民が安心して生活できるように、避難タワーの整備を緊急に行う必要がある。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	